

様式1(主な取組)

活動指標名	健康危機管理対策委員会(本庁)の開催				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	13	13	13	12	12	12	100.0%	641	順調	<p>活動概要</p> <p>毎月の健康危機管理対策委員会や保健所管内の関係機関等との連絡会議を開催し、連携体制の強化を図った。</p> <p>保健所を地域の健康危機管理の拠点とし、関係機関と共同して、個人用防護具の着脱訓練、新型インフルエンザ患者の移送訓練等を実施し、危機管理体制の強化を図った。</p> <p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>健康危機管理対策委員会や保健所管内の関係機関等との連絡会議を開催し、食中毒の発生状況やインフルエンザ等の情報を共有し、対策等について確認を行うことで、連携体制の強化を図ることができた。</p> <p>保健所を地域の健康危機管理の拠点とし、関係機関と共同して、個人用防護具の着脱訓練、新型インフルエンザ患者の移送訓練等を実施し、危機管理体制の強化を図ることができた。</p>
活動指標名	保健所管内の関係機関等との連絡会議開催				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	11	10	9	10	7	10	70.0%			
活動指標名	保健所管内の関係機関等との共同訓練実施				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	6	6	10	7	5	5	100.0%			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①健康危機管理対策委員会や保健所管内の関係機関との連絡会議・共同訓練を通して、引き続き、連携体制を強化する。また、研修会への参加、講習会の開催等により職員の知識の習得、技術向上等に努める。</p> <p>②各保健所管内の関係機関等との共同訓練の検証結果から、関係機関との連絡体制を見直すなど検証を踏まえた訓練を実施し、更なる危機管理体制の強化を図る。</p> <p>③沖縄県健康危機管理対策要綱等の改正を行い、健康危機管理体制の強化を図る。</p>						<p>①本庁における健康危機管理対策委員会を12回開催し、保健所管内においては関係機関との連絡会議を7回、共同訓練を5回開催した。また、健康危機関連の研修会へ参加し、外部講師を招聘して講習会を開催した。</p> <p>②連携体制の強化として、保健所において、自然災害発生時の医療本部活動に係るマニュアル及びアクションカードの整備等を行い、またアクションカードに沿った訓練を実施した。</p> <p>③沖縄県健康危機管理対策要綱等の改正を行い、沖縄県健康危機管理対策委員会の委員として那覇市保健所を加えた。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・健康危機発生時に備え、平常時から、国内・海外を問わず健康危機管理にかかる情報の収集や関係機関との連携体制を確保する必要がある。また健康危機の発生に対応するため、訓練等により職員の技術向上等に努める必要がある。

○外部環境の変化

・外国人観光客の増加等による、輸入感染症の発生リスクが高まっている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・あらゆる事態に備え、平常時から健康危機管理にかかる情報収集・分析や医療機関など関係機関との連絡調整を行い、健康危機管理体制の確保を図る。また、研修会への参加、講習会の開催等により職員の知識の習得・技術向上等を図る必要がある。

・部局横断的な連絡体制の強化等、連携の強化を行う必要がある。

・各保健所管内の関係機関等との共同訓練を通して明らかになった課題について、改善策を検討する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・引き続き、健康危機管理対策委員会や保健所管内の関係機関との連絡会議・共同訓練を通して連携体制を強化する。また、研修会への参加、講習会の開催等により職員の知識の習得、技術向上等に努める。

・引き続き、各保健所管内の関係機関等との共同訓練の検証結果から、関係機関との連絡体制を見直すなど検証を踏まえた訓練を実施し、更なる危機管理体制の強化を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	⑥健康危機管理体制の強化	
			施策の小項目名	—	
主な取組	九州・山口9県との健康危機に対する広域連携体制の構築			実施計画記載頁	139
対応する主な課題	⑨健康危機管理については、新型インフルエンザなど県域を越えた健康被害の発生や、原因不明の健康被害が発生した場合の初期における対応策を検討し、健康危機管理体制を整備する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
感染症や食中毒、医薬品、飲料水などによる県域を越えた大規模な健康被害へ対応していくため、九州山口各県の連携による健康被害に係る情報共有・応援等相互支援体制の整備、共同研修・訓練等を実施する。						
実施主体	県	広域連携運用(情報共有、訓練及び研修・調査等の共同実施、支援策の整理、対応マニュアル等の共有化)				
担当部課【連絡先】	保健医療部保健医療総務課	【098-866-2169】				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
—							—	—	○H29年度: 8月に九州・山口各県健康危機管理連携会議を当県で開催し、取組等について意見交換を行った。 1月に九州・山口9県で情報伝達訓練を行った。 ○H30年度: 九州・山口各県健康危機管理連携会議に参加し、情報伝達、研修等について協議する。 また、九州・山口9県で行う情報伝達訓練に参加する。
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
—									○H29年度:
—									○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	広域連携運用				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	—	100.0%	0	順調	8月に九州・山口各県健康危機管理連携会議を開催し、情報伝達訓練の検証、健康危機管理対策への取組について意見交換を行った。 1月に九州・山口各県及び各保健所等の県内関係機関を対象にした電話及びメールによる情報伝達訓練に参加した。
活動指標名	—				H29年度					
実績値							達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値							達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①九州・山口健康危機管理連携会議の開催、情報伝達訓練等に参加することにより、広域連携体制の強化を図る。						①8月に九州・山口各県健康危機管理連携会議を開催し、1月に行われた情報伝達訓練等に参加した。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・健康被害は、その原因が多岐にわたるが、頻繁に起こるものではないため、平時において、発生を想定した取組を引き続き行っていく必要がある。

○外部環境の変化

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・九州・山口9県との健康危機に対する広域連携体制を維持するため、引き続き健康危機管理連携会議や情報伝達訓練を実施していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・引き続き、九州・山口健康危機管理連携会議及び情報伝達訓練等に参加することにより、広域連携体制の強化を図る。